

クロバスだより 第291号

2020年2月13日発行

編集・発行:情報委員会

創立 1995 年 10 月 18 日

2019~20年度 テーマ

素敵に輝いて 素敵なクラブライフを!

第 291 回 例会

日 時:令和2年1月9日(木) 16:00~17:30

場 所:八王子エルシィ

出席者: 43 名 出席率 72.8%

(会員数 61 名 休会 2 名 欠席 16 名)

1. 開 会 齊藤例会委員長

第291回例会開催を告げ、配布資料の確認。

2. 会長挨拶

飯田会長

今年は例年になく穏やか な天候に恵まれた三が日でし た。皆様にはつつがなくお過ご しされたこととお慶び申し上 げます。

令和2年初の例会。改めまして皆様新年おめでとうござい



ます。昨年中は会員の皆様にはプロバス活動に対し、 ご支援ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

新年早々驚くようなニュースが2件。アメリカによるイラン司令官の攻撃とゴーン被告の国外逃亡が飛び込んできましたが、穏やかな一年であって欲しいと思います。今年はいよいよオリンピック・パラリンピックイヤーです。皆様の中にはボランティア活動で直接オリンピックに関わる方もおられます。素晴らしい大会になることを期待しております。

昨年は色々ありましたが、何といっても平成から 令和への御代替わりの一大イベントには大きな感動 を覚えました。10月には旭化成の吉野彰氏がノーベ ル化学賞に輝くという明るいニュースもありました。

またスポーツ界の明るいニュースとしてはラグビ ーワールドカップの大成功が国民に勇気を与えてく れました。日本チームの大躍進、見事な大会運営や 素晴らしい観客マナーは世界からの称賛を集めまし た。経済状況などで「停滞」していた日本の雰囲気 が一気に「前進」しました。

さて、八王子プロバスクラブは本年10月3日、創立25周年記念行事を開催いたします。これに向けましても全力で取り組んで参りたいと思います。

本日はこの例会後、引き続き新年懇親会が予定されておりますが、本日はお客様として、多摩・日野の両プロバスクラブから多くのご参加を頂きます。 近隣とのクラブ間交流として、より一層の親交を深めて頂くようお願いいたします。

今年の干支の庚子(かのえね)には「変化が多い年」という意味があります。是非本年が穏やかで「より良き変化」の年となることを念じ、合わせて皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とします。

3. ハッピーコイン披露

田中副会長からハッピーコイン 21 件の披露があった。(5~6ページに掲載)

4. バースデーカード贈呈

池田会員手作りのバースデーカードが 1 月生まれ の会員に贈られました。



写真 左から寺田、堀、土屋、(飯田会長)、下田、 下山、佐々木、河合の各会員(敬称略)

5. 卓 話

北條氏照まつりと私

土屋 三千代会員



て頂いて、地域奉仕委員会で見習い中です。結婚して八王子の横川町の住人になって 50 年になり、横川町が私の第二の故郷になりました。

私が住んでいます元八王子地域には八王子城跡があります。八王子城は平成18年に日本100名城に選ばれ、平成28年には城跡の曳橋の改修も行われ、日本が誇る緑豊かな名城跡です。小田原に本拠をおいた北條三代目氏康の三男、北條氏照が八王子城を築きましたが、戦国時代の末期、今から428年前、豊臣秀吉の軍勢に攻められ落城しました。八王子城は関東でも屈指の山城と言われていますが、残された遺構から往時を偲ぶだけで、城郭の具体的な様子等は判っていません。

元八王子地区連合町会自治会が主催する「元八王 子北條氏照まつり」は、毎年10月の第4土曜日と日 曜日に高尾街道を舞台に行われます。土曜日は講演 会や地域芸能の披露などが行われます。

日曜日は鋼板に威し糸を編み込んだ手づくり甲冑 と手作り衣装を着た武者行列と幼稚園児の鼓笛隊や ダンスグループの踊り、八王子消防署の消防自動車 と音楽隊の演奏などの行列が行われます。

武者行列には町会自治会の有志や地元の八王子城 跡三ッ鱗会や北條氏ゆかりの伊豆の国市韮山城代表、 小田原市小田原城代表、埼玉県寄居町鉢形城代表、 所沢市滝の城代表、八王子市滝山城代表の方々が集 まり、馬三頭を含めて総勢500名のパレードとなり ます。

甲冑は各自が手作りしたものです。この写真をご覧ください。右から「金子三郎右衛門、家老の大石信濃守照基、北條氏照公室比佐御前、城主の北條陸奥守氏照、横地監物吉信、狩野一庵、中山勘解由左衛門』の甲冑7領です。平成30年に武者甲冑5領、

長刀隊の10領と令和元年には子供甲冑10領も私たちで作製しました。

私が着ております衣装はなぎなた隊の姿です。パレードでは手作りの 2mの薙刀を持ちますが、今日は長いので残念ながら持って来られませんでした。

武者甲冑は毎年三ッ鱗会の方が中心になって手づくり甲冑講座で募集しています。八王子広報での募集なのでご興味を持たれた方はどうぞ参加して手作りの楽しさを満喫なさってみてはいかがでしょうか。甲冑作成後は北條氏照まつりでご自身が着てパレードに参加して、作る楽しさとパレードに参加する楽しさを味わってみてください。

私は元八王子北條氏照まつりのパレード部で4年間係わって参りました。いちょう祭りと同じように北條氏照まつりも市の祭にしたいと市に働きかけていますし、NHKの大河ドラマに「北條五代」の物語として取り上げて貰いたいと小田原市や八王子観光協会とも一緒に活動しています。

祭を通して小田原城北條五代まつり、寄居町北條まつり、所沢、八王子滝山城といろいろな方々との絆が深く結ばれ、思いも掛けない人の繋がりを通して人間ってすごいなぁと改めて感じております。

何事も行ってみることにより素晴らしい世界へ導かれるものと信じて、これからの八王子プロバスクラブの活動を楽しみに皆さんと一緒に学んで行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくご指導ください。

6. 幹事報告 一瀬幹事

本年もよろしくお願いいたします。今月は3点あります。

- ① 先ず、半年間を経過しての予算の執行状況のチェック(半期決算試算)をいたしましたが概ね順調に執行されております。ただ10月までの新入会員2名が未達であり、さらに4月にも2名を見込んでいますので、当面会員増強が最大の課題です。
- ② 5月17日(日)に今年も八王子健康フェスタが狭間のアリーナで開催されます。当クラブでは例年通り受付案内を担うことになっております。その時にはご協力を願う方が出てまいりますのでよろしくお願いいたします。
- ③ 八王子市民活動支援センターに登録しました。

「はちコミネット」というホームページがありますので会員委員会、地域奉仕委員会等を中心に当プロバスクラブの活動状況のPRに利用していきたいと思います。

<だみ声と話そう>

今月は橋 本鋼二会員 に登壇順 た し た 1970 年代 タイマイ 赴任



中に、ふとしたきっかけで知り合った在外邦人の数 奇な半生を小冊子にまとめてガリ版出版したものを タイ人女性研究者が知るところとなり、経緯を聞き にわざわざ来日し橋本宅まで訪ねてこられたという お話。

戦前・戦中の日本とタイ国間の移民や文化交流の 草の根の秘められたエピソードで、まことに興味深 かいセッションとなりました。

7. 各委員会活動報告

(1) 例会委員会

齊藤委員長

出席人員 61 名、72%。例会後に新年懇親会がありますので、スムーズな進行にご協力を。

(2) 情報委員会

河合委員長

① プロバスだより第 290 号をお届けしました。今月号の編集担当は佐々木秀勝委員でした。8 ページ建てで、寄稿は3本でした。ご協力ありがとうございました。

本日連絡箱に「寄稿のお願い文」を入れましたの で、該当された方はよろしくお願いします。

- ② 12月のホームページへのアクセス回数は 266 回でした。
- ③ 例会において発言された役員の方々は、発言要旨を速やかに情報委員会までお届けください。

(3) 会員委員会

なし。

(4) 研修委員会

山口委員長

本日、卓話の講師を務めて頂いた土屋会員ありがとうございました。

2 月例会の卓話は寺山会員にお願いしてあります。また、3 月例会の卓話は青年海外協力隊の帰国隊員

に、任地での様々な体験談についてお話しして頂く 予定です。

(5) 地域奉仕委員会 有田副委員長

「生涯学習サロン」について3点ご報告します。

- ①「希望テーマの選択表」の未提出者は、1 月中の 提出をお願います。
- ② 一般会員への募集案内書を12月末に発送しました。参加希望結果は2月例会において報告します。 皆様方の積極的な勧誘活動をお願いします。
- ③ 一般会員への広報活動については、当会の IP、 市公報、はちコミネット、コミュニティー紙等を通 じて行って参ります。

(6) 交流担当

田中担当理事

- ・他クラブとの会報やり取り継続中。
- ・近隣クラブとの交流では、本日の新年懇親会に日 野、多摩の両クラブから多数ご参加の予定。
- ・全日本プロバス協議会の会報「ひろば」の第3号 (新年号)に当クラブも紹介されている。各テーブ ルを回覧中なので是非お目通しを。

(7) 宇宙の学校

下山 PJ リーダー

「宇宙の学校」PJとして、本日は確定的な報告 事項はありません。確定後まとめて報告しますが、 今日は進行中のこととしてお聞きください。現在令 和2年度の計画を立案中ですが、今年も3会場(教 育センター・東京工科大・八王子学園)で実施の予定 で、日程を調整中です。

スタートは工科大会場で、6月6日(土)頃となり そうです。そのほかの会場は例年通り1月末までに は調整が終える予定です。

募集人員、他の事項も昨年度と大きな変動はない と思いますが、確定次第改めて報告いたします。今 年度も皆様の絶大なご協力をお願いします。

8. その他

創立 25 周年記念事業準備委員会 杉山 友一

25 周年記念事業の期日を本年 10 月 3 日(土)と定めて残り準備期間は 9 か月となりました。委員会は昨年末までに 4 回開催し具体的な計画の骨子を固めてきました。事業は

- ① いちょうホールでの《 次代を育てる はばたけ 未来!! 音楽祭 》の実施。
- ② エルシィ会場での記念式典・レセプションパーテ

ィーの開催。

③ 25周年記念誌の発行。の3本柱としました。

①については、1:小学校ブラスバンド部、2:小学校合唱部、3:中学校吹奏楽部、4:高校和太鼓部、5:高校吹奏楽部の各優秀代表校を招いて小・中・高生の芸術文化活動支援コンサートを開催いたします。

今後は月を追って進捗状況をご報告しながら当日 に向けて会員各位のご協力をお願いしてまいります のでどうぞよろしくお願いいたします。

9. プロバス賛歌斉唱

10. 閉 会

田中副会長



・新年に相応しい例会になり ありがとうございました。先 月も同じ事を申し上げました が、会員の高齢化と会員数の 減少傾向・出席率の低下傾向 が心配です。どうぞ会員の増 強にご配慮ください。

- ・今秋の創立25周年に向けての事業推進に、全会員の積極的な参加とご協力をお願いします。
- ・この後は新年懇親会です。日野、多摩両クラブか らも多数ご参加下さいます。どうぞ楽しい一時を!

新年懇親会

定例会に引き続き行われた 新年懇親会は戸田弘文例会委 員・齊藤万里子委員長の司会・ 進行で開催された。

飯田会長の挨拶の後、会長からお客様の紹介があり、続いて 来賓代表として多摩クラブの



北村克彦会長、日野クラブの後藤紀之会長からそれ ぞれご挨拶を頂き、馬場前会長の音頭により祝杯が あげられ懇親会がスタートした。

懇親会は例会委員会の演出により、各テーブルからの「ひとことインタビュー」や「じゃんけんゲーム」で盛り上がり、塩澤会員の指導により「ミニゲーム」が行われた。締めくくりとして「カラオケ」

大会となり、喉自慢の面々が得意の持ち歌を披露 し、会場は大いに盛り上がりを見せた。

最後に田中副会長の一本締めにより、新年懇親会 は盛会のうちに幕を閉じた。

以下、懇親会の和やかな様子を写真により紹介し 報告とする。

飯田会長の挨拶



新年懇親会へのご出席ありがとうございます。改めまして新年明けましておめでとうございます。温かく穏やかな三が日でした。皆様には、既に初詣とか初打ちとか初の字の付くことに取り組まれたと思いま

すが、私は専らスポーツ観戦でした。

八王子プロバスは今年創立 25 周年を迎えますが、 先程の例会の中で杉山実行委員長から胸のわくわく するような記念事業が示されました。いずれ時期が 来ましたら、多摩・日野の皆様にもご案内を差し上 げますのでよろしくお願いします。

賀詞交歓会では、今年はオリンピックまでの盛り 上がりとその後の停滞を心配する声が多く聞かれま した。急激な変化ではなく、ぜひ軟着陸であって欲 しいと願っています。

どうぞ最後まで懇親会をゆっくりとお過ごしいただきたいと思います。

お客様の紹介

挨拶に引き続き飯田会長から東京多摩プロバスクラブからのお客様として、北村克彦会長、澤雄二地域奉仕委員長のお二人を。東京日野プロバスクラブからのお客様さまとして、後藤紀之会長、後藤一郎パスト会長、小島馨パスト会長、奥修兵パスト会長、宮地浩平幹事、小島康義前幹事、大島芳幸情報委員長、横山好忠前研修委員長の七氏が紹介された。

多摩プロバスクラブ 北村克彦会長のご挨拶

明けましておめでとうございます。本日は素晴らしい会場で皆様とお会いし、新年をお祝いすることができ大変うれしく思っております。高齢化の時代を迎え我がクラブは会員の数が少ないので、増強



したいと考えております。私どもでは昨年15周年を迎えましたが八王子では25周年ということで、まだ10年も先の話になります。これからもご指導をよろしくお願い致します。

日野プロバスクラブ 後藤紀之会長のご挨拶

明けましておめでとうございます。今日家を出るとき、妻に「ネクタイは要らないの」と言われ、「懇親会だから大丈夫」と言って出てきました。この会場に入って「こんなラフな格好で」と青ざめました。



来週は日野の懇親会がございます。その時は「ビシッと決めて」皆様をお迎えしたいと思います。日野のクラブでは、オリンピックの後、11周年を予定しております。皆様のお越しをお待ちしています。今年一年よろしくお願い致します。

写真による懇親会点描

〈和やかな雰囲気の懇親会場〉



〈塩澤会員の指導によるゲーム二題〉





〈カラオケ熱唱二番〉





ハッピーコイン

- ◆令和2年初の例会。今年も穏やかな1年でありますように!!プロバス会員と御家族の皆々様のご健勝を御祈念申し上げます。 飯田冨美子
- ◆旭化成のニューイヤー駅伝優勝、箱根での創価大 の逆転シード権獲得をプロバス関係者としてまこと にうれしい幕開けでした。駅伝づいていますね。

一瀬明

- ◆飯田年度も後半戦に入りました。今年も皆様の協力を得て「一人一人が輝く」クラブ運営に努めたいと思います。よろしくお願いいたします。一瀬 明
- ◆誕生日例会で楽しみのカードもらいます。干支で 言えば七巡り。84才です。 下山 邦夫
- ◆新年おめでとうございます。伝えておきたい事もある、忘れてしまいたい事もあるさ。でも感謝の気持ちでスタートです。

本年もよろしくお願いします。 宮城 安子

◆令和2年PC会員の皆さん。今年も元気で行きま しょう! 荻島 靖久

- ◆今年1年間、災害がないことを祈り、かつクラブ 25周年記念事業の盛会を祈って!! 馬場 征彦
- ◆1月2日 息子達一家 久し振りに全員が集まり 楽しい正月でした。 髙取 和郎
- ◆令和2年、今年は会員の平均年齢が多分80才の 大台に乗るでしょう。老いて益々盛ん、そんなクラ ブでありますように!! 杉山 友一
- ◆あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。新年早々米国とイランのキナくさい衝突が起こっていますが平和な1年を望みます。

山口 三郎

- ◆明けましておめでとうございます。新年早々休会で申し訳ありませんが、入会以来初めてのことですのでご勘弁下さい。はるか上海より盛会を祈ります。 野口 浩平
- ◆アメリカに住む娘が年末に3番目の子供を出産しました。長男7歳、次男5歳、そして今度は女の子。 予定日より8日も遅れて出てきたせいか、4,058 グラム、55 センチのジャンボ・ガールでした。母子共健康そうなのが何よりもハッピー!

これで我が家の孫は13歳を頭に6人となりました。 山野 稔

- ◆新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。本日は私の誕生日で後期高齢者の仲間入りをしました。体力・記憶力がこの頃低下してきましたが、元気だけは出して喜寿に向け頑張って行きたいと思います。 寺田 昌章
- ◆年末から正月にかけてハワイ旅行を家族全員で楽しんできました。これから旅行のDVD作成や写真印刷には相当時間がかかると思いますが、楽しみながらやりたいと思います。 寺田 昌章
- ◆笑い!ふれあい!高めあい! 今年も良い年に しよう。 大野 幸二
- ◆今年、私はいよいよ後期高齢者の仲間入りです。 忘れ物が多くなっていますが、1日に1個の忘れモノにしたいと思います。今年も宜しくお願いします。 持田 律三
- ◆このたびは米寿のお祝いを頂きまして誠にありが とうございました。今後もPCの為に頑張ります。

◆令和2年明けましておめでとうございます。60 代最後の1年、有意義な年となるよう努力したいと 思います。 佐々木秀勝

◆創価大駅伝部 3回目の箱根駅伝出場で総合9位となり、念願のシード権を獲得しました。令和初の大会で嬉しいニュースです。ハッピー!!

佐々木秀勝

◆今年もニューイヤー駅伝、旭化成がダントツ優勝で4連覇! 20 才の新人小野知大君の快走等、当分 黄金時代が続きそう。 田中 信昭



思い出深い南米エクアドル

山口 三郎

JICA 生活の中で最後の海外での在勤地であった南米エクアドルに 2006 年から 2009 年まで 3年間勤務しました。エクアドルとはスペイン語で赤道を意味しますが、まさに首都のキトは赤道直下にあります。標高 2,600M、



高原性気候で湿気が少ないことから非常に過ごしやすく、歴史的町並みは素晴らしいものがあります。 また太平洋上に浮かぶガラパゴス諸島は多様な生態で知られた非常に興味のある地域です。

高原首都であるキトはインカ帝国の副首都、キトはキチュ、インカ帝国の言語ケチュア語で中心の意味、世界の中心であると言いたかったのでしょうか。因みに当時首都であったペルーのクスコは、臍(へ



東山 榮

そ)の意味であり強大なインカ帝国のイメージが浮かび上がって来ます。インカからスペインの統治時代を含めその景色紋様は世界遺産都市として誠に美しい街並みであります。

エクアドルでは 2000 年までスクレを法定通貨としてきましたが超過度なインフレにより通貨価値を維持出来なくなり、2000 年以降米ドルを法定通貨としました。反米左派政権であるにも拘わらず何とも皮肉な結果と言えましょう。因みにパナマも米ドルを法定通貨としています。(スクレとは南米諸国をスペインから独立に導いた軍人の一人の名前であり、ボリビア 2 代目大統領等を歴任しました。)

かつてインカ人が測量し赤道線として確定した場所を訪れた時、誠に興味ある解説のデモンストレーションを受けました。それは赤道線直下より北へ5M(北半球)でシンクの水を流す。水はクルクル反時計回りで流れ落ちる。今度は赤道線より5M南へ下がったところ(南半球)でシンクの水を流したところ時計回りで流れ落ちました。そしてそのシンクを持って将に赤道線上で水を流したところ水は真っすぐに落ちました。信じていいのか不思議な感覚、皆様はどう解釈されますか?



詳しい話はまた後程議論いたしましょう。因みに 後年、フランス隊が測量し確定した赤道線は当地よ り 100M 程離れているが、今ではインカ末裔の測量 地点が正しいと言われているようです。

JICAのエクアドルにおける国別援助指針は「格差の是正」、「環境保全・防災」を協力事業展開の中心におき、技術協力、ボランティア事業、無償資金、有償資金協力事業等を有機的に展開させ、様々な協力を機能連携のもと幅広く行っていることを申し添えます。

能鑑賞 「翁」の感謝と祈り

杉山 友一

若い頃から時折各地に所在する能楽堂を訪ねることはあったが、クラブに古典芸能鑑賞同好会が出来たことから、改めて能を系統的に鑑賞するようになった。



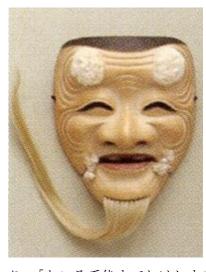
そんな中で今年は新年早々、

同好会のお世話役で能の世界に造詣の深い内山会員から、神楽坂の矢来能楽堂での新春公演の入場券をプレゼントされ、期待に胸を膨らませながら1月12日13時に会場入りした。というのも、能の演目はかねがね「神能」「修羅能」「鬘物」(かずら)「雑能」「切能」と大きく五つのジャンルに分類されるとあるが、そのジャンルの「別格」と位置づけされ、新

「切能」と大さく五つのシャンルに分類されるとめるが、そのジャンルの「別格」と位置づけされ、新年や祝賀の会などで最初に演じられているのが「翁」の一曲だからだ。つまり「翁」は能の原点に位置するとのことであり、ならば一度はその舞台を出来るだけ早く観たいと思っていたのだ。

日本の音楽、舞踏の古典といえば朝廷貴族文化として栄えた大陸由来の歌舞音曲を基とした「雅楽」、「舞楽」だと承知しているが、一方では「(以下国立能楽堂能楽入門の手引きより)平安時代(9世紀頃)能の源である「猿楽」(申楽)(曲芸、物の真似、寸劇、滑稽芸などの雑芸)が生まれ、鎌倉時代(12世紀頃)には劇形式に発展し、寺社の法会や神事の時に演じられるようになった。他方、農作物の豊作を祈る儀式としての「田楽」にも演劇的な要素が加わってやがて「田楽能」を形成、その後両者が競い合う中で能が成長して来た」。

さて、以上の経過の中でこそ能世界のスタートに 位置すると目される一曲が今回観劇する「翁」と言 うわけだ。時に当日の観劇会場、神楽坂の矢来能楽 堂は開場が昭和 27 年、能舞台としては古参の会場 で、内山会員が所属する矢来観世家、観世九皐会の 活動の拠点である。当日は新春の定例会とのことで 230 席の会場は満席であった。お目当ての演目「翁」 は作者不詳の作品で概ね四部構成となっていて、地 謡をベースに、翁の謡いと舞いを中心に据えた文字 通り 60 分間一気通貫の舞台であった。その容態は、 複雑な作りはどこにも見られない、言えば数種の歌



舞を雑然と寄せ集めたものだが、曲想が実に素朴でひとつの仕舞がことのほか大きり見えて、ゆったりゆったりと進行してゆくのだ。

劇中の詩歌は「と うとう(滔々)たら り・とうとうたら

り」、「ところ千代までおはしませ」、「鳴るは滝の水」 などと謡われるのだが、その意は「生きとし生ける 全てのものを支える命の水への感謝と祈り」との解 説がある。

一曲が作られたのは凡そ 13 世紀後半(室町幕府前夜)で、往時の環境を考えればこの神聖なる儀式としての一曲は如何にも成る程とすとんと腑に落ちる。因みに「父なる神」、「その子キリスト」、「聖霊」を唯一神とする国々の欧米、神アッラーの一神を奉じるイスラム圏の国々などを思い起こせば、古来日本人の感謝と祈りの対象はより幅広い宗教観、大自然の恵みへの感謝と平安への祈りであり、原始宗教アニミズムの領域に根差していることが理解できる。

最近、かねてから手許に置いている日本精神史(阿 萬利麿著)(自然宗教の逆襲)を丁寧に読み返してい るのだが、「日本人とははたして何者か」を探ろうと するとき、能の世界はこの上なく貴重な副読本の役 目を果たしてくれることが最近良く分かった。能は 間違いなく遥か時代を超えて娯楽性をベースにして 「人の思いを」描き続けてきた、「心のありよう」を 語り継いできていると思えてきた。

改めて能演劇に潜む日本人の精神性に注目しなが らこれからも折に触れて能のジャンルを追っていき たいものだ。入場券をプレゼントしてくれた内山会 員に重ねてお礼を言いたい。

〔文中の能面白色尉(はくしくじょう)写真の出典 は国立能楽堂 入門の手引き より〕

(注釈)「翁面」(おきなめん) は正月などの特別なときだけ上演される「翁」に使用される。シテが演ずる翁に用いる白い彩色の白色尉と狂言方が演ずる三番叟に用いる黒色尉とがある。

俳句同好会だより

私の一句〈一月の句会から〉

河合 和郎

俳句には花鳥風月に感動する心の柔らかさが不可 欠。今年も俳句脳をフル回転させて、楽しみつつ挑 戦の日々でありたい。

大方は掃き清めたり年の際 東山 榮

何事も完璧にしようとすると大変。世の中は大方でほぼ大方が収まるのでは。大掃除に於て然り。

山宿の寝つけぬ夜のしずり雪 矢島 一雄

木々の枝から落ちる雪の音を聞きながら夜は更けてゆく。これも旅の思い出の一つ。雪の兼題句。

ななつ八つ離れて寄りて柚子湯かな 池田ときえ

柚子湯の楽しみ方は人それぞれ。静かに香りを楽 しむ人もあれば、柚子の実を相手に遊ぶ人も。

ソンブレロ載せて我が家の雪だるま 田中 信昭

暑い国の帽子と雪だるまの取り合わせが面白い。 雪の兼題に俳諧味満点の傑作が詠めた。

風花やふるさと模様偲ばるる 下山 邦夫

風花が舞っている。ふと想いは故郷へ。懐かしい 景が走馬灯のようによぎる。風花が描く心象風景。

七種や草の名言ひつ粥すする飯田冨美子

昔七草は野で摘んだもの。今はお店で売っている。 粥の白さと菜の緑が鮮やかに浮かんでくる一句。

家の味故郷の味の雑煮かな 馬場 征彦

故郷にはふる里の味がある。それを残しつつ新しい家の味が生まれる。家の味は母の味。そして又。

旧友の賀状追伸笑みこぼる 野口 浩平

決まり文句の挨拶の後に本音の一言が書かれている。あいつ又こんなことを…。下五がいい味を。

ラガーマン踊って吼えていざ出陣 河合 和郎

昨年日本中がラグビーで沸いた。俄かファンも急増。それにしてもあの試合前のセレモニーは面白い。

編集後記:291号をお届けする。正月気分での編集作業はちょっとしんどかった。しかし、今月は原稿の集まりが早くてスムーズに編集が進められた。これからも是非ご協力を。陽気は不順だが、今年も元気・元気の一年でありたい。

情報委員会

河合 和郎